

「東京農業における農福連携の可能性」

～農業の働き手確保と障害者の働く場としての農福連携～

農業における働き手不足や高齢化の背景もあり、全国的な農福連携の取組により、障害を持つ方の働く場が農業分野で広がりつつあります。

東京都内においても、福祉事業所に農作業や出荷調整作業、加工作業などを依頼する取組や、福祉事業所が農業参入をする事例などがあり、福祉との連携による農業経営への相乗効果も期待されています。

今回のセミナーでは、第1部として「農業経営に農福連携を取り入れる実務的メリット」と題し、農業者が実施可能な農福連携の取組パターン、それぞれの実務的なメリットや留意点、具体例について、農林水産政策研究所付の直江 秀一郎さんよりご講演いただきます。

事例紹介では、練馬区で障害者の就労支援や職場定着支援を行う就労支援員の長谷川 謙さんより、共同受注事業（福祉事業所との間に入り、依頼したい仕事のマッチング等を行う事業）等における農福連携による就労支援の状況などを伺います。また、令和4年に武蔵野市等で農地を借りて新規就農をした鈴木 茜さんより、農園で取り組んでいる農福連携の状況について、お話をいただきます。

農福連携について知っていただく機会として、人手不足が課題となっている方や農福連携に関心のある方、取組を支援したい方々など、皆さまお誘い合わせのうえ、積極的なご参加をお待ちしています。

日時

令和7年 **2**月**18**日（火） 午後**1**時**30**分～午後**4**時**30**分

場所

JA東京第1ビル 2階 203会議室（裏面をご参照ください）
住所：立川市柴崎町 3-5-25

内容

【第1部】講演「農業経営に農福連携を取り入れる実務的メリット」

講師：農林水産政策研究所付 コンサルティングフェロー **直江 秀一郎** 氏

【第2部】事例紹介「農福連携による障害者の就労支援について」

講師：社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会

障害者就労支援センター「レインボーワーク」

就労支援員 **長谷川 謙** 氏

【第3部】事例紹介「新規就農者が取り組む農福連携」

講師：こびと農園（武蔵野市認定新規就農者）

鈴木 茜 氏

参加対象者

都内の農業者（その家族）、農業法人の経営者・従業員、
区市町村職員、JA職員、その他関係団体職員 など

参加無料

お申し込み

以下のいずれかの方法によりお申込みください。

〔申込みフォームの場合〕右記のQRコードを読み込んでください

〔メールの場合〕 gyoumu@tokaigi.com に裏面申込事項をお送りください

〔FAXの場合〕裏面申込書を記入のうえ03-3379-7627にお送りください

お申し込み締切 2月10日（月）



2月18日(火) 農業経営セミナー

参加申込書

ご職業 (該当に○をしてください)	
農業者 ・ 区市町村職員 ・ JA職員 ・ その他()	
お名前	区市町村名
法人名および役職	電話番号

※ご記入いただきました個人情報は、本セミナー以外の目的で使用することはありません。

～ 会場案内 ～

